

アンケート結果の概要

１ アンケート調査の概要

連携計画策定にあたり、栗生線の利用状況やニーズを把握するためのアンケート調査を以下の内容で実施した。

表 アンケートの実施概要

	(1) 一般利用者	(2) 高校生	(3) 観光旅行者	(4) 小中学校 (神戸市・小野市は小学校のみ)
目的	一般利用者の利用実態や改善ニーズの把握	通学利用実態や改善ニーズの把握	栗生線への観光目的での利用実態やニーズの把握	野外学習での交通機関利用実態や栗生線利用への誘導可能性の把握
対象	各市域の駅を 1 駅ずつ選定 (押部谷、志染、小野) 列車内でも調査票配布 (緑が丘～栄) ※高校生以下は除く	沿線高校生 (三木北、三木東、三木、小野、小野工 1 年生：約 200～300 人×5 校)	栗生線周辺の市・町在住のWEB調査モニター (神戸市、三木市、小野市、三田市、明石市、加古川市、加西市、加東市、西脇市、稲美町、播磨町)	各市域小中学校の担当教員 (小学校：神戸市 166 校、三木市 16 校、小野市 9 校) (中学校：三木市 8 校)
	1500 名	約 1300 名	753 名	199 校
調査方法	駅・列車にて配布、一定期間内に駅にて回収 (回収箱設置)	各学校を通して留置き調査	WEBによる調査	各学校へ留置き調査
配布	1/20 駅配布 (7～9 時、小野は 6 時半～8 時半) 列車配布 (10～13 時)	1/18 各校へ自治体から説明	1/20 WEBサイトにアップ	1/7～1/19 各校へ自治体から説明 (校長会で依頼)
回収期限	～1/27 駅にて回収	1/22 各校にてとりまとめて回収	1/26 回答受付締切 (一定サンプル数で打ち切り)	～1/26 各校から返送
回収数	759 回収率 51%	1177	753	小学校 168 (2/16) 中学校 7 (2/16)

今回報告

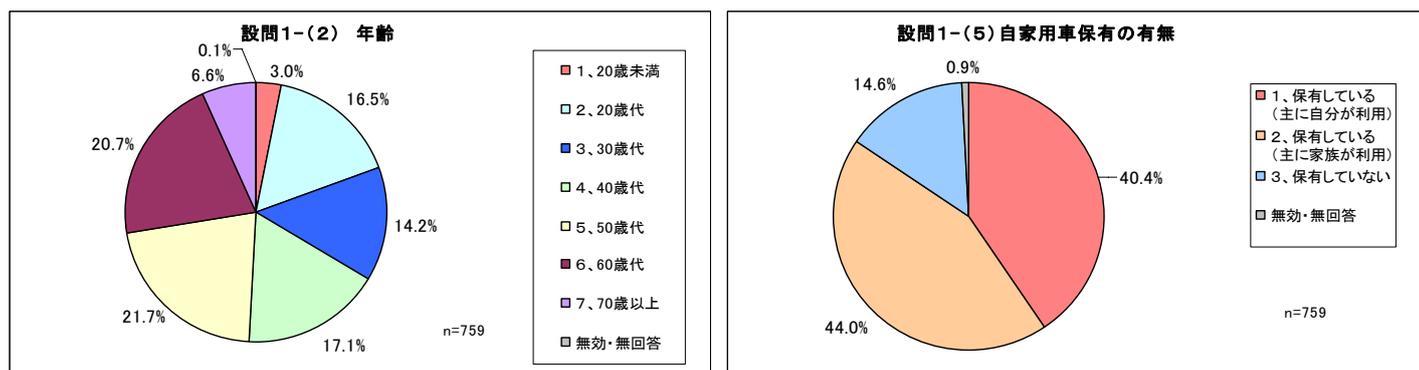
今回報告

2 アンケート結果の概要

(1) 一般利用者アンケート

① アンケート回答者の属性

- ・ 年齢は各年齢層ともシェアは概ね同じで、職業は会社員・公務員が56%。
- ・ 最寄り鉄道駅は、志染駅が39%、押部谷駅が17%と多く2駅で過半数を占める。
- ・ 自動車免許は78%が保有しており、家族での利用も含め84%が自家用車を保有。



② 粟生線利用の目的と頻度

- ・ 粟生線の普段の利用目的は、通勤が最も多く45%、次いで買物、趣味・レジャーとなっている。買物や趣味・レジャーは月1~2回程度の利用が多い。

③ 主な目的地

- ・ 通勤の目的地は、志染駅が11%、湊川駅が9%、阪急三宮駅が6%の順に多い。
- ・ 通学では、緑が丘駅と湊川駅、岡本駅が9%と最も多い。
- ・ 買物では、阪急三宮が28%、志染駅が9%の順に多い。
- ・ 通院では、志染駅が14%、緑が丘駅と三木駅が10%の順に多い。

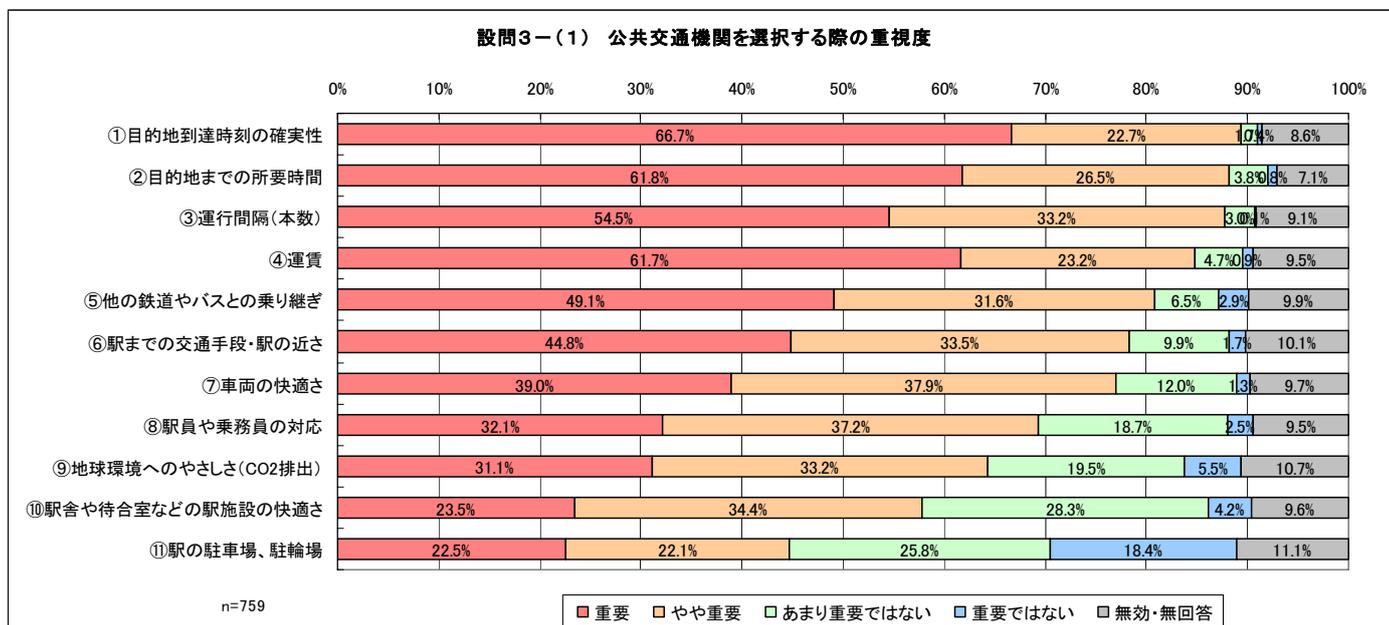
④ 粟生線の利用満足度

- ・ 粟生線の利用しやすさの満足度は、「到達時刻の確実性」で75%、「駅員や乗務員の対応」、「駅の駐車場・駐輪場」で50%を超えているものの、「駅施設の快適さ」、「目的地までの所要時間」は40%を下回っており、「運賃」では13%と低い。

満足度：回答で“満足”と“ほぼ満足”と答えた方の割合

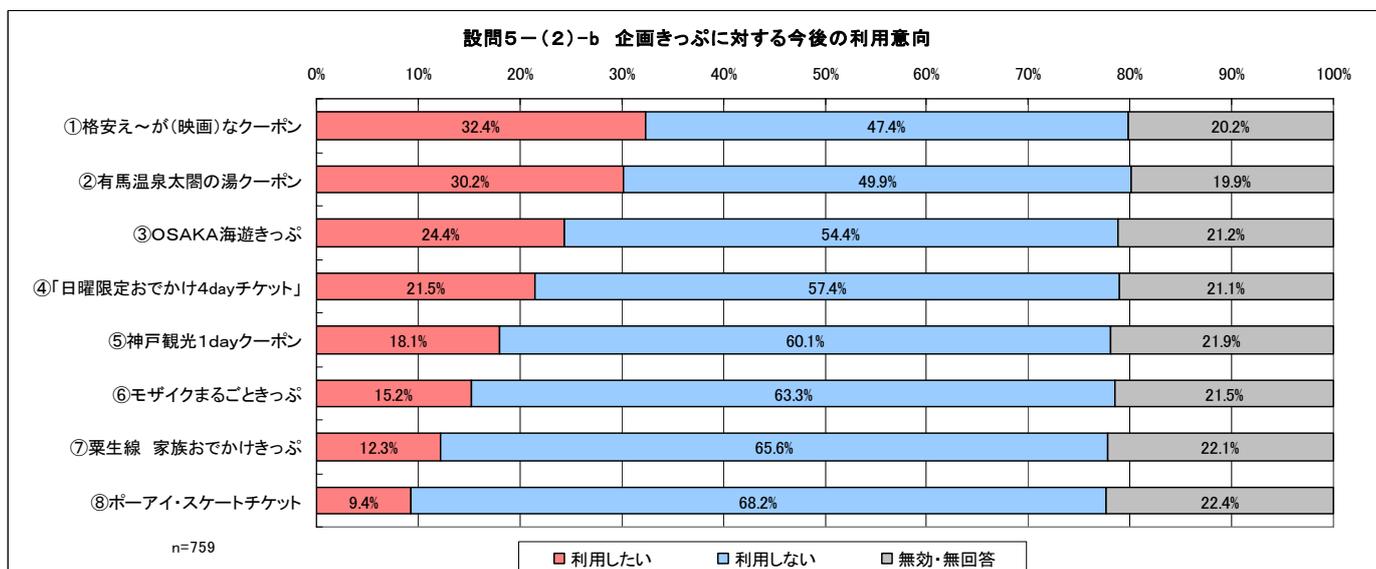
⑤ 公共交通機関を選択する際に重視する内容

- 公共交通手段選択には、「到達時刻の確実性」や「目的地までの所要時間」、「運賃本数」や「運賃」を重視している。



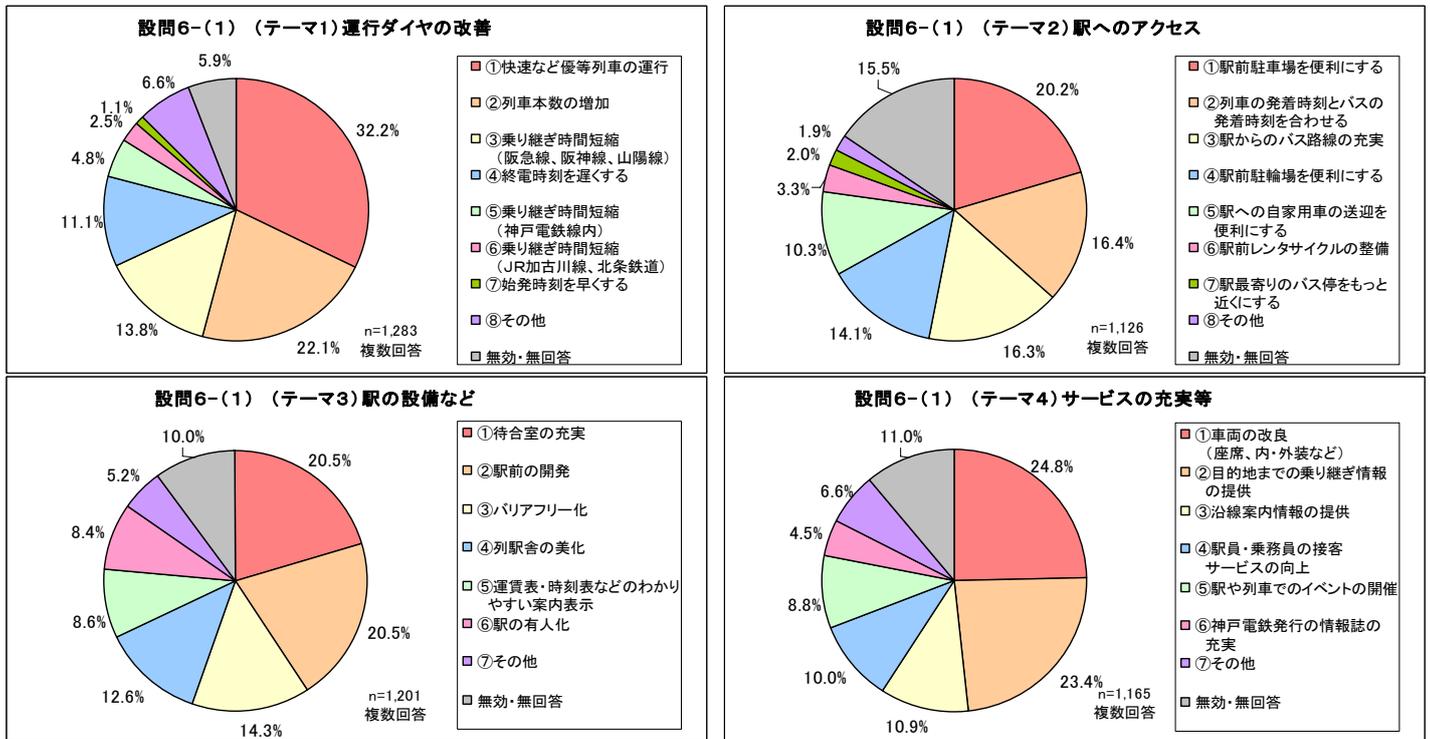
⑥ 企画きっぷの認知度と利用意向

- 企画きっぷについては概ね半数の方が知っているものの、利用している人はいずれも10%未満である。
- 利用意向は、「格安え〜が(映画)なクーポン」や「有馬温泉太閤の湯クーポン」で高い。



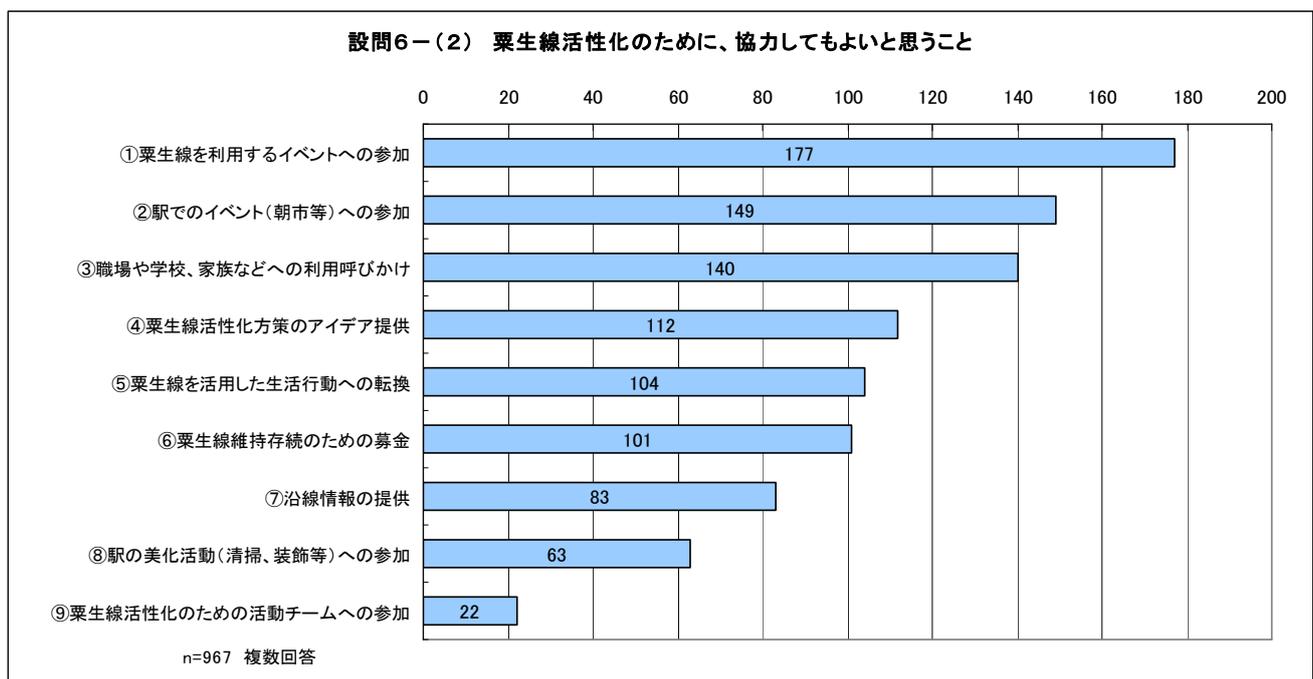
⑦ 粟生線を活性化するための方法

- ・ 運行については、「優等列車の運行」や「本数の増加」が重要という意見が多い。
- ・ 駅へのアクセスは、「駅前駐車場・駐輪場を便利に」や「バス発着時刻の整合」、「駅からのバス路線充実」が重要という意見が多い。
- ・ 駅の整備では、「待合室の充実」や「駅前の開発」、サービスの充実では、「車両の改善」や「乗り継ぎ情報提供」が重要という意見が多い。



⑧ 粟生線活性化のための協力の意向

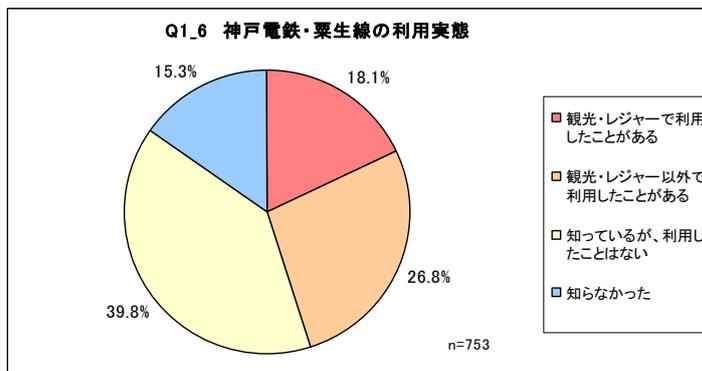
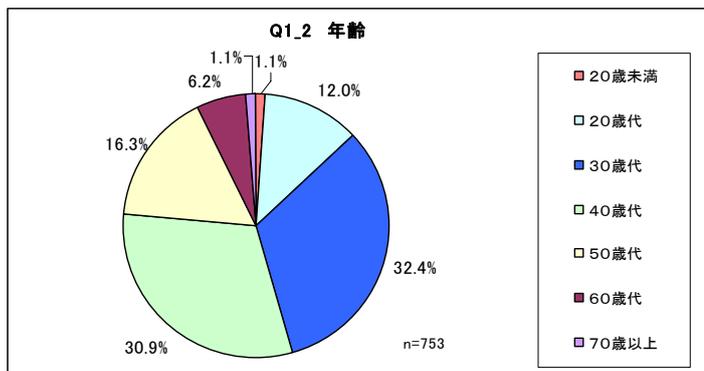
- ・ 「粟生線を利用するイベントの参加」や「駅でのイベントの参加」、「職場や学校、家族などへの利用呼びかけ」などへの協力意向が比較的多い。



(2) 観光旅行者アンケート

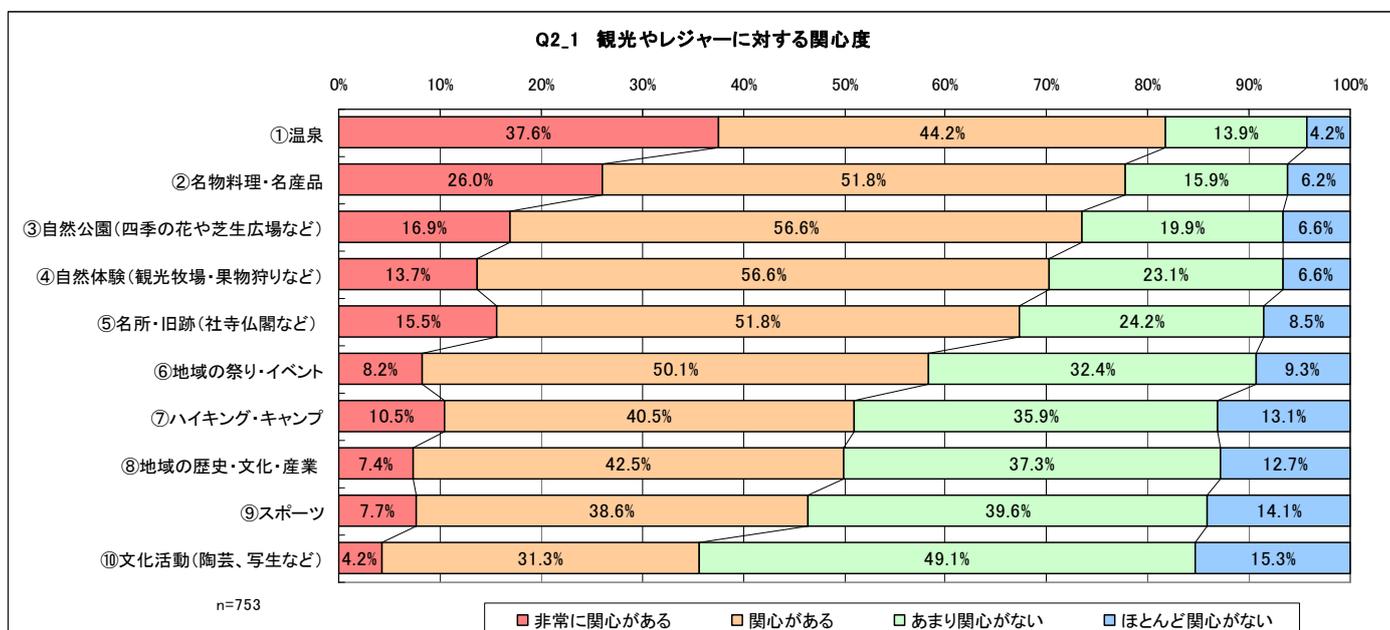
① アンケート回答者の属性と栗生線の認知度

- ・ アンケート回答者は30歳代・40歳代が全体の63%、職業は会社員・公務員が49%。
- ・ 栗生線を「利用したことがない」人は40%、「知らない」人は15%である。
- ・ 自動車は家族保有も含めると90%が保有しており、観光やレジャーで出かける際の交通手段は自動車が75%、鉄道が21%である。



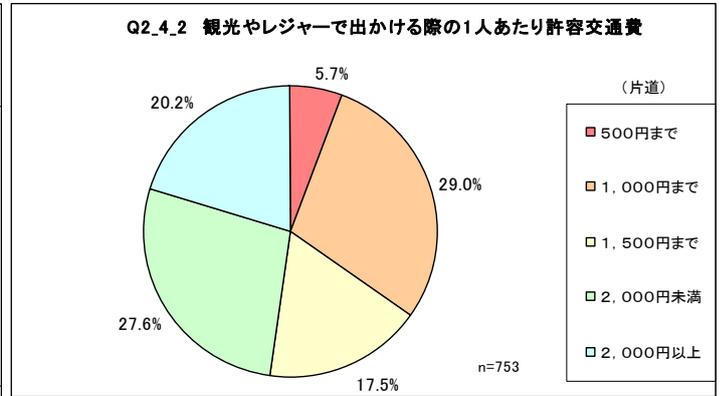
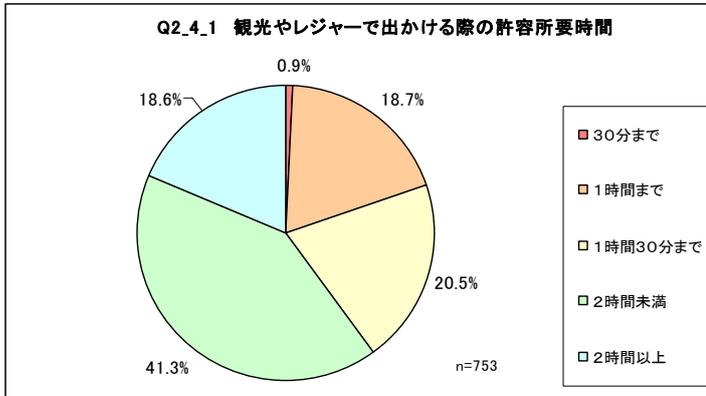
② 観光やレジャーに対する関心度

- ・ 観光やレジャーに対する関心度は「温泉」や「名物料理・名産品」、「自然公園」で高い。
- ・ 栗生線沿線の訪問意向は、「グリーンピア三木」や「白雲谷温泉ゆぴか」、「三木山森林公園」等で高い。



③ 観光やレジャーのお出かけ時にかかっても許容できる所要時間・交通費

- ・ お出かけの所要時間は、片道 2 時間未満が 81% を占める。
- ・ お出かけの 1 人あたり交通費は、片道「1,000 円まで」が 29% と最も多く、1,500 円までが過半数を占めている。

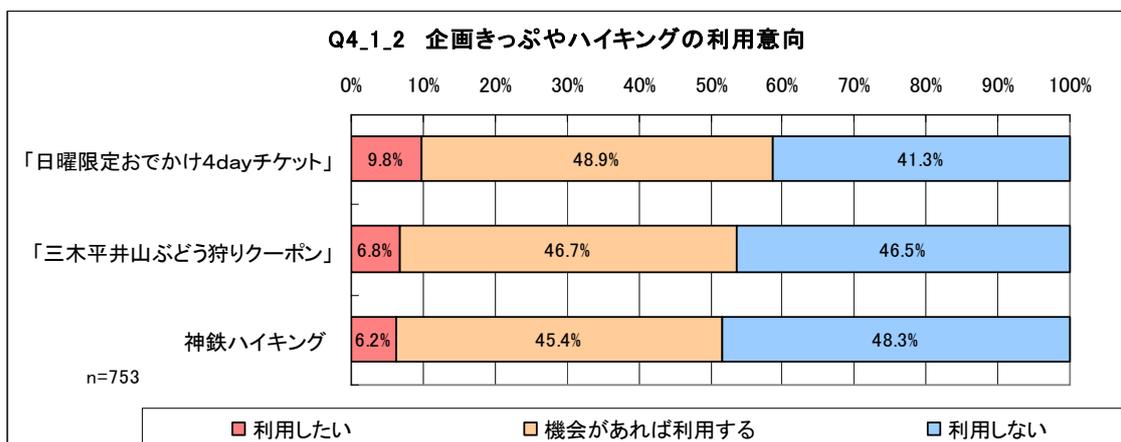
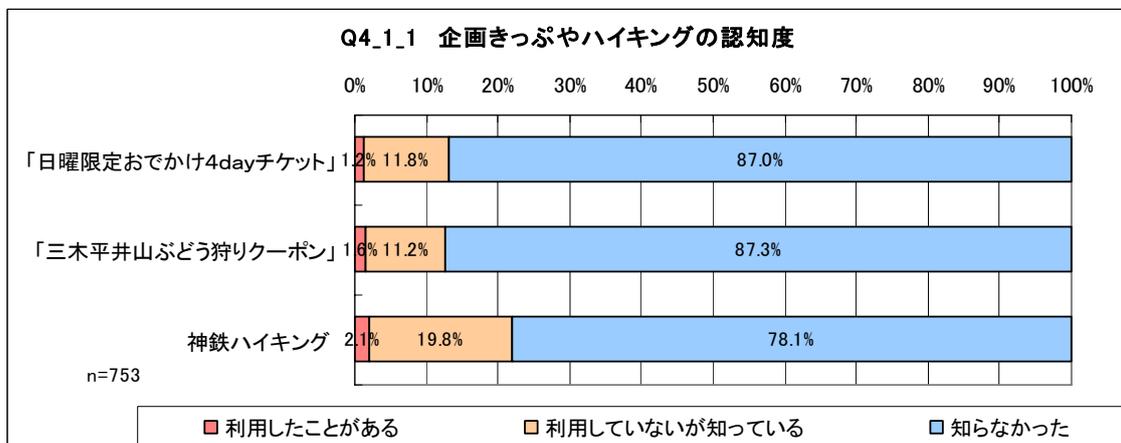


④ 出かける際の主な情報源

- ・ 出かける際の情報源は、「インターネット」が 36%、「旅行・レジャー雑誌、ガイドブック」が 25%、「新聞・テレビ」が 14% の順で多くなっている。(複数回答)

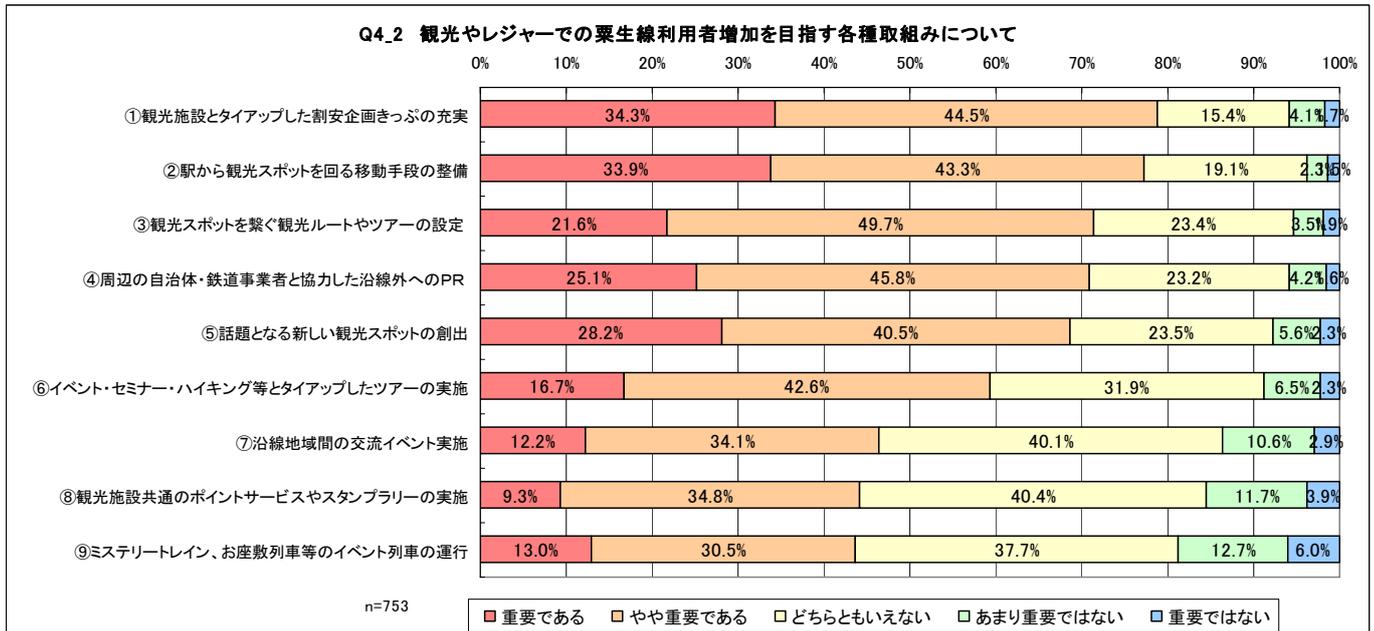
⑤ 企画きっぷ等の認知度と利用意向

- ・ 以下の企画きっぷ等の認知度は 13~22% と低いが、利用意向はいずれも 50% を超えている。



⑥ 観光やレジャーへの取り組みの重要度

- 「観光施設とタイアップした割安企画きっぷの充実」や「駅から観光スポットを回る移動手段の整備」の重要度が高い。



⑦ 粟生線の利用意向

- 「利用する」や「機会があれば利用する」が67%と多い。
- 利用しない理由は「移動に不便」や「移動時間がかかる」、「沿線に行きたい観光・レジャー施設がない」といった理由が多い。

